

本年大統領選挙 決勝戦に對する豫見

フウヴァーは元就 スミスは秀吉

フウヴァーは元就、スミスは秀吉。この二つの比喩は、本年の大統領選挙の決勝戦に對する豫見を述べたものである。フウヴァーは、その政治的資質から見て、元就に比喩されるべきである。元就は、その政治的資質から見て、秀吉に比喩されるべきである。...



りき横を洋西太りよ逸獨てしに歳三
女少た來にゴカしてし旅獨

崇敬の念に乏しい 近代的宗教の缺點

近代的宗教の缺點は、その崇敬の念に乏しい点にある。現代の宗教は、その教義の科学性や合理性を重視し、その結果として、神への崇敬の念が薄れ、宗教の神秘性が失われている。...



氏ンブチス員議院下たい赴に定選を地歌の館使大新國來りけに國伊

本年の大統領選挙は、フウヴァーとスミスの対決である。フウヴァーは、その政治的資質から見て、元就に比喩されるべきである。スミスは、その政治的資質から見て、秀吉に比喩されるべきである。...

眞を求めて (二)

オランダ 瓦礫生

眞を求めて、それは人間の永遠の課題である。科学や技術は、物質的な進歩をもたらすが、人間の精神の成長には限界がある。...

たびごるも

淡海 學人

たびごるも、それは人間の生活の真実である。淡海は、その生活の真実を追求し、その結果として、人間の精神の成長を促している。...

本年度の 沿岸野球争覇戦

準備着々進行

本年度の沿岸野球争覇戦は、準備が着々進んでいる。各チームは、選手を募集し、練習を重ね、争覇戦に臨む準備を進めている。...

王府軍は 青年クラブ

デンバーで死去

王府軍は、青年クラブの活動に力を入れている。デンバーで死去した人物は、その活動に多大な貢献をした。...

近代的宗教の缺點は、その崇敬の念に乏しい点にある。現代の宗教は、その教義の科学性や合理性を重視し、その結果として、神への崇敬の念が薄れ、宗教の神秘性が失われている。...

フウヴァーは元就、スミスは秀吉。この二つの比喩は、本年の大統領選挙の決勝戦に對する豫見を述べたものである。フウヴァーは、その政治的資質から見て、元就に比喩されるべきである。...

近代的宗教の缺點は、その崇敬の念に乏しい点にある。現代の宗教は、その教義の科学性や合理性を重視し、その結果として、神への崇敬の念が薄れ、宗教の神秘性が失われている。...

眞を求めて、それは人間の永遠の課題である。科学や技術は、物質的な進歩をもたらすが、人間の精神の成長には限界がある。...

たびごるも、それは人間の生活の真実である。淡海は、その生活の真実を追求し、その結果として、人間の精神の成長を促している。...

日本文藝欄

一粒の麥

浦部 禮介
月を照らす星を仰ぐ日、心は静かにして、星の光は...

亡き兒を憶ひて

池上 耕涯
いつまでも忘れぬべしと思ひ、吾子のまほしき日、毎...

水守する夜

大島 波浮郎
サクラの葉の赤の音の響く秋の夜、星のまばゆき...

妹逝きて

大島 波浮郎
厚き文藝の文藝が、妹の死を、妹の人は、妹は...

アラスカの旅より

樹心院 眞道
アラスカの子には、知られぬアラスカを、アラスカを...

百日紅の花

伊勢田 はつる
夕明り来た、百日紅の花、百日紅の花、百日紅の花...

日米詩壇

断章
加藤 茅花
取りだされぬものは、わが心は、わが心は...

ゆめの戀人

香柳 美苗
ゆめの戀人は、秋の風が、秋の風が、秋の風が...

公園の午後

松本 茂里池
公園の午後、松本 茂里池、公園の午後、公園の午後...

晩夏の野路

外川 あきら
今宵は、晩夏の野路、外川 あきら、今宵は、今宵は...

朝を誓ふ

三四 郎
朝を誓ふ、三四 郎、朝を誓ふ、朝を誓ふ...

民謡

朝顔
岩本 政勝
朝顔、岩本 政勝、朝顔、朝顔...

作創

まぐり 珠 樹
作創、まぐり 珠 樹、作創、作創...

畫食後

香柳 美苗
畫食後、香柳 美苗、畫食後、畫食後...

日米俳壇

秋夜の壁
下山 逸着
秋夜の壁、下山 逸着、秋夜の壁、秋夜の壁...

濱の素足

片井 溪巖子
濱の素足、片井 溪巖子、濱の素足、濱の素足...

不動の姿勢

東城 込浪
不動の姿勢、東城 込浪、不動の姿勢、不動の姿勢...



文壇場言

不動の姿勢
東城 込浪
不動の姿勢、東城 込浪、不動の姿勢、不動の姿勢...

係りから

係りから
東城 込浪
係りから、東城 込浪、係りから、係りから...

文壇場言
不動の姿勢
東城 込浪
不動の姿勢、東城 込浪、不動の姿勢、不動の姿勢...

係りから
東城 込浪
係りから、東城 込浪、係りから、係りから...

不動の姿勢
東城 込浪
不動の姿勢、東城 込浪、不動の姿勢、不動の姿勢...

